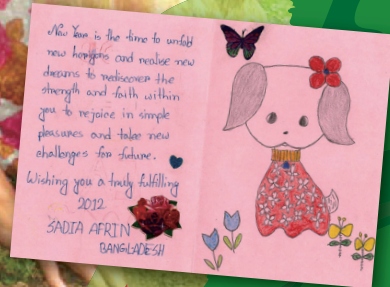


「子供の森」計画

in **Bangladesh**



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。国土の大半が海より低い Bangladesh では、海面上昇からの大きな被害が心配されています。将来に渡って国を守っていけるように、子どもたちに植林の重要性や実際に行動することの大切さを教えています。

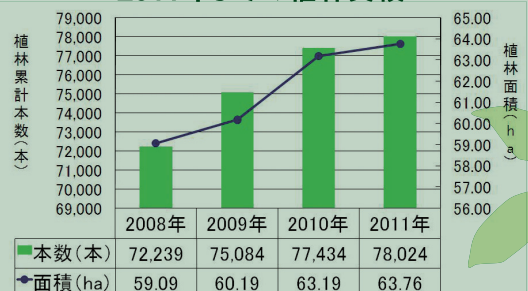
Linylane ©LAYUP

2011年の活動

- 2011年は10の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施 (植林590本・面積0.57ha)
- 海岸線へのマングローブ植林や、生物多様性の学習を植林と同時に取り組むグリーンウェイブ植林などに力を入れて活動しました

「子供の森」計画参加学校数(1992年からの累計値) : **220校**

2011年までの植林実績



Bangladesh



- ◆人口 : 164,425百万人 (2010年IMF推計値 日本は127,594百万人)
- ◆面積 : 14万4千km² (総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km²)
- ◆一人当たりGDP : 690 US\$ (2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$)
- ◆森林率 : 11% (2010年FAO公表値 日本は69%)
- ◆「子供の森」計画積極展開地域 (丸印) : **ダッカ、チッタゴン**



Bangladesh の活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子は [こちらから](http://www.kodomonono-mori.info)

「子供の森」計画情報提供サイト www.kodomonono-mori.info



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区泉3-6-12
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>

日本のお客さまとの楽しいひととき

日本人の訪問は、村人たちの
ヤル気に繋がっているよ

イリシアジャミラハイスクールは、ここ数年毎年、「子供の森」計画の支援グループの激励訪問を受けています。日本人グループが学校を訪問すると、お互いがそれぞれの国を代表して、歌やダンスなどを披露するなどの文化交流会を行っています。

この学校の地域には外国人が訪れることはめったにありません。子どもたちの中には「一年で最も印象に残るイベント」と大興奮する子もいます。また合同での植林活動は子どもたちにとってさらに思い出深いものになります。日本人と共にくるみに足を取られながらも協力をしてマンゴローブを植えるのです。共に苦勞をし、また地球のために行動を起こした子どもたちと日本人グループの間には確かな絆が生まれます。校長のヌルソン先生は「日本の皆さまには、「子供の森」計画を支援していただき誠に感謝して

います。また、日本の方々が現場を訪れることは、バングラデシュ人にとって精神的にもとても大きな支援となります」と述べています。今後も心温まる交流を続けていきたいと考えています。



合同でのマンゴローブ植林。心温まる絆が生まれます



日本人グループとの文化交流会

おいしいマンゴーを夢見て

学校緑化と栄養補給の
両方を狙っているよ

バングラデシュの教育制度は、小中高で12年間というのは日本と同じですが、イギリス統治時代の名残が見られ、Primary School (小学校) が5年、High School (中学) が5年、College (高校) が2年となっています。ここバグバリ学校には小中高と学校があり、大勢の子どもたちが通っています。そしてこの学校の敷地内には、学校とは別にもう1つの建物があります。これは、地域の有志によって建て

られ運営される孤児院です。もちろんこの孤児院の子どもたちもバグバリ学校へ通っています。2011年の植林活動は、特にこの孤児院の周りで重点的に行いました。子どもたちと一緒に考え「植えた

い!」と選ばれたのはマンゴー。有志の寄付に頼る現状では孤児院の資金が十分ではありません。そこで、学校の緑化もでき、将来的に子どもたちへ果物を与えてくれるマンゴーが選ばれました。実ができるまではまだまだ時間はかかりますが、子どもたちは収穫を楽しみに大切に育てていってくれることでしょう。



マンゴーの苗を丁寧に植樹



後ろに見える建物が孤児院

TOPICS

バングラデシュの甘いお菓子

子どもたちも大好きなバングラデシュの代表的なお菓子、「ミスティ」と「ドイ」を紹介します。ミスティは卵型でデュラムセモリナ粉(小麦粉)、ミルク、砂糖水から作られています。日本人の多くは初めは甘すぎて丸ごと一つは食べられないのですが、慣れてくるともう一つ、もう一つとついつい食べてしまうようなお菓子です。

ドイはバングラデシュのヨーグルト。ミスティと一緒に食べると両方がさらにおいしく感じられます。バングラデシュに来られたら、このあまい世界をぜひ体験してください。



お店にはたくさんの種類のミスティが並ぶ